



神を仰ぎ 人に仕う

# Chapel News

2023年4月7日(金)

No.1

「ようこそチャペルへ」

聖学院大学のチャペル(chapel)は法人聖学院創立100周年記念事業として2004年10月に完成しました。2006年日本芸術院賞、2008年にはBCS賞(建築業協会賞)を受賞しました。現在も大学の顔となっています。今年度は聖学院創立120周年を迎え10月にはチャペルの正面にパイプオルガン(pipe organ)が設置されることになりました。現在は組立作業を見学できる貴重な期間でもあります。オルガンについての紹介は他の機会に行われる予定です。楽しみにしててください。

ところで、チャプレン(chaplain)という言葉は、聞きなれないかもしれません。昔は喜劇俳優のチャプリン(chaplin)と間違えられたりもしました。宗教主任と称する学校も少なくありません。学校付き牧師のほうが分かりやすいでしょうか。キリスト教では、礼拝する場所を教会と呼びます。そして教会で働く人のことを牧師と呼びます。しかし、礼拝する場所が学校や病院などにあるとき、その礼拝する場所はチャペルと呼ばれます。そしてそのチャペルで働く人は、チャプレンと呼ばれます。

聖学院大学では礼拝する場所、すなわちチャペルをとっても大切にしています。なぜなら、スクールモットーである「神を仰ぎ、人に仕う」を具現化する場所だからです。チャプレンを中心として、多くの教職員や学生諸氏の奉仕によって豊かな礼拝を守ることができていることは、感謝にたえません。

ところで、チャペルの語源ですが、マルティヌス(Sanctus Martinus Turonensis)という人物の故事に因んでいる説が有力のようです。ある寒い冬の日、彼がローマ軍人として兵役についた時のことです。道端に寒さに震える物乞いがありました。彼は自分の外套(cape)を半分に引き裂いて、その人に与えたそうです。その夜、夢の中でマルティヌスにイエス・キリストが現れました。そして、目覚めると、半分に切ったはずの外套は元通りになっていたという逸話があります。この聖なる「外套」(cape)はラテン語で「カペラ」(capella)になります。これを保管する建物も「カペラ」と呼び、英語でchapelになりました。因みに音楽の「ア・カペラ」もカペラに由来しています。COVID-19収束後には聖歌隊のア・カペラがカペラに響き渡ることでしょう。

キリスト教センター所長 山口 博

## 2023年度聖句

わたしたちは知っているのです、苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということ。 (ローマの信徒への手紙 第5章3~4節)

## 全学礼拝について

全学礼拝は火曜日～金曜日です。春学期の月に1度のチャペルでの対面礼拝週間は14時40分～15時10分で行われます。それ以外は、昨年度に引き続きキリスト教センターホームページでの文書礼拝配信となります。

## 聖学院教会祈祷会

毎週木曜日18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。どなたでも自由にご参加ください。

## 主の祈り

天にましますわれらの父よ  
ねがわくはみ名をあがめさせたまえ  
み国をきたらせたまえ  
みこころの天になるごとく 地にもなさせたまえ  
我らの日用の糧を今日も与えたまえ  
我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく  
我らの罪をもゆるしたまえ  
我らをこころみにあわせず 悪より救い出<sup>い</sup>したまえ  
国とちからと栄えとは  
限りなくなんじのものなればなり アーメン



### ★礼拝時にご協力をお願いいたします★

- \* マスクの着用
- \* 席は詰めすぎずに着席
- \* 讚美歌は心の中で賛美



4月11日(火)

奨励者 小池 茂子  
(聖学院理事長・大学学長)  
司会者 山口 博  
奏楽者 富岡 真奈

前 奏  
讃美歌 501 番 1 節  
聖 書 ヨハネによる福音書  
2 章 1~11 節 (新約 P.165)  
祈 禱  
奨 励 「カナの婚礼での奇跡」  
祈 禱  
讃美歌 501 番 2 節  
主の祈り  
後 奏

4月12日(水)

—イースター礼拝—  
奨励者 山口 博  
(聖学院院長・キリスト教センター所長)  
司会者 洛雲海  
奏楽者 山田 志帆

前 奏  
讃美歌 151 番 1 節  
聖 書 マルコによる福音書  
16 章 1~8 節 (新約 P.97)  
祈 禱  
聖歌隊による賛美奉献「喜びの復活祭」  
奨 励 「イースターの出来事」  
祈 禱  
讃美歌 151 番 2 節  
主の祈り  
後 奏

4月13日(木)

奨励者 洛雲海(ナグネ)  
(政治経済学部特任チャプレン)  
司会者 柳田 洋夫  
奏楽者 清水 貴子

前 奏  
讃美歌 二編 195 番 1 節  
聖 書 エフェソの信徒への手紙  
2 章 14~16 節 (新約 P.354)  
祈 禱  
奨 励 「キリストにあって一つ」  
祈 禱  
讃美歌 二編 195 番 2 節  
主の祈り  
後 奏

4月14日(金)

奨励者 柳田 洋夫  
(人文学部チャプレン)  
司会者 木村 太郎  
奏楽者 今村 優子

前 奏  
讃美歌 525 番 1 節  
聖 書 ローマの信徒への手紙  
5 章 3~4 節 (新約 P.279)  
祈 禱  
奨 励 「苦難・忍耐・練達・希望」  
祈 禱  
讃美歌 525 章 2 節  
主の祈り  
後 奏

今後の全学礼拝(文書)奨励者のご案内

文書礼拝は、キリスト教センターのホームページからアクセスできます。

聖学院キリスト教センター



今後の文書礼拝のご案内

- 4月18日(火) 木村太郎先生 (心理福祉学部兼人間福祉学部チャプレン)
- 4月19日(水) 田村綾子先生 (副学長・心理福祉学部兼人間福祉学部長)
- 4月20日(木) 古谷野巨先生 (心理福祉学科特任教授)
- 4月21日(金) 村松 晋先生 (日本文化学科教授)
- 4月25日(火) 菊地 順先生 (政治経済学科特任教授)
- 4月26日(水) 東野尚志先生 (日本キリスト教団滝野川教会牧師、本学講師)
- 4月27日(木) 吉岡光人先生 (日本キリスト教団吉祥寺教会牧師、本学講師)
- 4月28日(金) 高橋恵一郎先生(女子聖学院中学校高等学校チャプレン)

◇ キリスト教音楽会 ◇

【特別講座—パイプオルガンって何だろう?】

5月10日(水) 10:40~12:10 (アセンブリアワー)

場所/大学チャペル

本学のチャペルでは、聖学院創立 120 周年にあわせてパイプオルガン建造という一大プロジェクトが進行中です。

今回は、その担当であるガルニエ・オルガヌム工房のマテュー・ガルニエ氏をお招きして、小型オルガンを用いての実演会を開催します。「どうやって音が出るのか」をはじめとするパイプオルガンの構造の解説、組み立ての実演、そして演奏など、盛りだくさんの内容となっています。音楽に詳しい方も、そうでない方も一緒に楽しむことのできる企画となっていますので、ぜひお越しください。



次回の Chapel News 発行日は、4月28日(金)です。